兵庫県立はりま姫路総合医療センター

外科

指導担当医（役職）

酒井　哲也（副院長）

実習概要

概要

当院では実習可能な外科系診療科として、消化器外科・総合外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科の4診療科があり、どの診療科で実習する場合も主治医チームの一員として臨床実習を行っていただくことになります。基本的には4週間単位で各診療科に配属され、手術症例で、周術期管理がその期間中で完結できる症例が原則として含まれる形で実習を受けていただきます。担当患者数は診療科により異なってきますが、主治医チームとしてともに回診、諸検査、手術に参加し、ICの場にも参加していただきます。また、必ず一例は手術記録も記載していただき、手術記録に記載する図も含めて指導を行います。

医療面接

主治医チームとともに回診します。また入院時には担当患者を訪室して、問診による術前の情報収集の中で医療面接と身体診察を行っていただきます。

身体診察

担当患者を毎日診察し、術前では主治医とともに手術計画を検討します。

手術においては手洗いの上、清潔操作のなかで手術にも参加していただき、解剖の説明とともに病態の説明、それに対する手術療法についても適宜説明し、術式の理解を深めていただきます。そのうえでそれを手術記録として文書化することで、振り返り学習の中、知識の整理および問題点の整理を行うよう指導します。

術後の管理では、vital signの確認やドレーンの管理、術後のmedicationについて主治医の指導の下に実習していただきます。

カルテ記載

毎日、学生カルテに記載を行います。上級医が記載内容をチェックし、指導します。

症例プレゼンテーション

術前検討会で担当患者のプレゼンを行っていただきます。プレゼンの前には前もって主治医と打ち合わせを行い、プレゼンの仕方についても主治医から指導を行います。

その他（特色など）

当院には救命救急センターがあるので、外科系救急疾患も多く診ることができます。

手術が必要な場合は救急科が単独で行うことは少なく外科系診療科が担当しますので、もちろんタイミングの問題もありますが、大学病院ではあまり経験することが少ない外傷救急症例も経験することができます。

学生へのメッセージ

冒頭でも説明しましたが、当院では実習可能な外科系診療科として、消化器外科・総合外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科の4診療科があります。基本的には各診療科1名の受け入れとしています。

実習前には希望の診療科を伺ったうえで配属を決定しますが、希望が重なった場合は各診療科と相談の上、複数の受け入れが可能かどうか判断します。複数の受け入れが困難な場合は、こちらで割り振らせていただくこともありますことをご了承いただく必要性があります。